

# はあもに *Harmony*

Vol.11  
2023年9月発行

尊厳と希望のものがたり  
「アザーズ」希望のフェアトレード

地域に開かれた場所として  
江東小隊「こども食堂マナ」

毎日5分だけで心とカラダをリフレッシュ！



To Women, For Women, and By Women



わたしは、あなたたちのために立てた計画を  
よく心に留めている、と主は言われる。  
それは平和の計画であって、災いの計画では  
ない。将来と希望を与えるものである。

聖書 エレミヤ書29章11節

FOR I KNOW THE PLANS I HAVE FOR YOU,"  
DECLARES THE LORD, "PLANS TO PROSPER YOU  
AND NOT TO HARM YOU, PLANS TO GIVE YOU  
*hope AND A future.*

JEREMIAH 29:11 NIV



# はあもに

第11号 もくじ

- 4 **尊厳と希望のものがたり**  
 ・「アザーズ」希望のフェアトレード  
 ・職人たちの希望のものがたり  
 ・手に取ってみたい、othersの  
 “かわいい” を見つけました
- 10 **地域に開かれた場所として**  
 江東小隊「こども食堂マナ」
- 12 **ばいぶるメッセージ**  
 神様の恵みの庭  
 セジャール・マカチェン
- 14 **いのりのじかん**  
 「感謝します」祈るときに一番したいこと。でも……  
 樋口愛子
- 16 **毎日5分だけで心とカラダをリフレッシュ!**  
 ブース記念老人保健施設グレイス 機能訓練室
- 18 **救世軍の人身取引対策活動**  
 きずな献金2023 ミャンマープロジェクト  
 『はあもに』定期購読のご案内

『はあもに』はすべての女性のためにつくられた雑誌です

表紙 Photo by others  
 目次 Photo by Tatiana Briday on Unsplash

今日の晩ご飯はいくらでつくれたのかな  
 今月も電気代上がって困るなあ  
 わたしたちの日常に影響を及ぼす様々な出来事  
 その背景には実はもっともつと複雑な問題が絡んでいる  
 安い賃金で労働させられる人々  
 働きたくても安心して働けない社会  
 女性というだけで見下げられ、搾取される  
 命の安全すら保障されない環境に生きる  
 これは遠い世界のことではなくて  
 私たちのすぐそばでも起きていること  
 私たちにできる小さなことは  
 知ろうとすること、思いを分かち合うこと  
 あなたとあなたの大切な人の未来のために

はあもに  
*Harmony*



# othersって？

## ミッション

救世軍の社会的事業である「アザーズ・トレード・フォー・ホープ」は、ケニアとバングラデシュで弱さや不正な搾取を経験していた人々に雇用の機会を与える、フェアトレードの働きです。

1997年創業以来、「アザーズ」は社会的不公平と闘い、人々の自立と貧困撲滅に貢献しています。

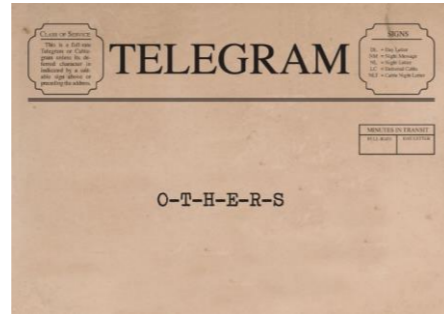
「アザーズ」の働きは、国連の「持続可能な開発目標」のうち、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等を実現しよう」「働きがいも経済成長も」「人や国の不平等をなくそう」の7つに一致しています。

誰もが等しく尊厳をもち、自立し家族を養うという誇りをもつことを願っているはずで、公正な賃金が約束され、国際市場が確立された働きやすい仕事を留意することで、より多くの人々が適切な雇用にあずかれるよう、その一翼を担いたいと思っています。

## 「アザーズ」に込められたメッセージ

救世軍の創立者であるウイリアム・ブリスは、かつて世界中の仲間に自分たちの活動の主眼を思い出させるために電報を打ったと言われています。その電報には、others (アザーズ) というたった一つの言葉が書かれていました。

「他者のために」、この心が現在の活動に受け継がれて、今年「アザーズ」は25周年を迎えました。



othersのPR動画はコチラ



# others

TRADE FOR HOPE

## 「アザーズ」希望のフェアトレード 尊厳と希望のものがたり

自分のことばかり考えてはいけません。他の人を思いやり、何がその人にとって最善か、よく考えなさい。  
コリント人への手紙 I 10章24節 (リビングバイブル)

No one should seek their own good, but the good of others.  
I Corinthians 10:24 (NIV)



世界には、仕事が見つからない人がおよそ1億8800万人います。一生懸命働いても家族を養えるだけの収入を得られない人は、およそ1億6500万人います。

「アザーズ」は、そのような人々と共に1997年、バングラデシュで始まった取り組みです。体を売るほか生きるすべがなかった女性たちに訓練と教育を提供し、彼らは次々と美しい手づくりの製品を作り出していました。

現在、ケニアとバングラデシュの約800人の制作者は救世軍と直接取引をし、適正な賃金を受け取っています。

「アザーズ」の商品を購入することは、雇用を生み出し、希望の未来へとつながります。ただ商品を買うということ以上に、人と人がつながること。一つひとつの製品に、かけがえのないストーリーが詰まっているからです。

その人の尊厳と、自立と、希望の物語。

「アザーズ」は、慈善事業ではなく、人々の人生を変える協働ビジネスです。食卓に家族のための食べ物が並びます。女性たちが読み書きを学ぶことができます。安定した収入により、子どもたちが学校で必要な教育を受けることができるようになります。

あなたも、希望のトレードに参加して、物語の一員になってみませんか？

知っていますか？

7月30日は国連が定めた人身取引反対世界デーです

救世軍では9月第4日曜日（今年は24日）を人身取引被害者のための世界祈祷日として祈りをささげています



現代の奴隷制、人身取引とはなんですか？ 救世軍はすべての人には平等に尊厳が与えられており、また隣人を大切にす

る義務があるという聖書の原則を信じています。人間に対する搾取は、取引された人を商品化し、非人間化するとともに、人身

取引業者の非人道性を利し、社会の道徳的、社会的、経済的構造を弱体化させます。救世軍は、現代奴隷制及び人身取引に内在する、ほかの人間に対する権力の乱用に反対しています。

今日、世界中で、現代の奴隷制と人身取引の影響を受けている男性・女性・子どもの数は4,000万人以上とされています。このうち1,500万人以上が強制結婚を、2,400万人以上が強制労働を強いられ、その30%は子どもが占めています。

世界中の救世軍で現代の奴隷制と人身取引に関する積極的な取り組みをしており、そのために8つの行動目標を掲げています。それは、祈り・予防・参加・保護・訴追・共働・方策・証明です。

わたしにできるちいさなこと

# きずな献金2023 ミャンマープロジェクト



ミャンマーは世界で最も貧しい国のひとつとされています。勉強したくてもできない貧しい家庭の子どもたちがたくさんいます。仕事を求めて海外に渡り、人身取引の被害に遭ったり、現代の奴隷のような状況に陥ってしまう若者も多くいます。シンガポール・マレーシア・ミャンマー軍国のミャンマー地区の救世軍では、女性たちへの教育、トレーニングを通して、親たちの意識に変化をもたらすよう働きかけています。

救世軍の公式ウェブサイトから献金する→



## 救世軍の人身取引対策活動

2023年6月に、タイで救世軍南太平洋及び東アジア地域における現代奴隷制及び人身取引対策のための実務者研修会が行われました。各国での課題と共に報告されたフィリピンの救世軍CAR(カー)プロジェクト(※)とマーシーさんのストーリーをご紹介します。右のQRコードでマーシーさんの動画を英語字幕で視聴することができます。



「何度も命を絶とうと思いましたが、でも、そのたびに子どもたちのことが頭に浮かぶのです。眠れない日々が続きましたが、強くなれ、と自分に言い聞かせていました。」

マーシーさんは、フィリピンのセブ湖という美しい田舎町に子どもたちと暮らしています。仕事がなく、お金に困って路頭に迷っていた頃、外国に良い家政婦の仕事があると、斡旋業者に誘われました。彼らの「必ず助ける」という言葉にすがって、期待に胸を膨らませました。行き着いた先は、ヨルダンの大都市。仕事の拘束時間は長く、食事はろくに与えられず、ひどい扱いを受けました。彼女が稼いだ収入はすべて斡旋業者に渡されました。彼女が言われていたことはすべて嘘だったのです。



「やがて、彼女はそこから逃げ出して、フィリピン大使館に助けを求めました。故郷に帰ったマーシーさんは、以前と全く変わらない貧しい状況の中で、子どもたちを養えず、ヨルダンの仕事に戻った方がよいのかもしれない、とさえ思いました。」

そんな中、救世軍CAR(カー)プロジェクトが手を差し伸べました。彼女には一台の織機があてがわれ、布を織る仕事を与えられました。さらに、2頭の山羊が与えられ、自宅で飼育し数を増やしています。必要な時は売ってお金にすることもできます。



見えない明日へ、安心の約束を。

発行日 2023年9月1日 はあもに第11号  
定価 200円 (税込・送料別) 年間3回発行  
発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17  
TEL: 03-3237-0881

発行者 スティーブン・モーリス  
編集責任者 ウェンディ・モーリス  
編集者 西村和江 石川芳子 平本征子 齋藤恵子  
田中民 (グラフィックデザイナー)  
創立者 ウィリアム・ブース  
大将 リンドン・バックingham

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会  
©本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載・使用を禁じます



救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会で、伝道活動とともに、様々な問題で苦しみ、助けを求めている人々のために、130以上の国で社会福祉・教育・医療などの支援を行っています。救世軍について詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://www.salvationarmy.or.jp>

## 次号は2024年1月発行

### 『はあもに』定期購読のご案内

\* 売上の一部を「きずな献金」として海外支援に用います

定期購読料	1冊200円(税込・送料別) 年間3回(1月、5月、9月)発行 合計600円(税込・送料別)
-------	--

ぜひ定期購読をお近くの救世軍へお申し込みください

### お問合せ

救世軍本営 女性部はあもに係 (QRコード右)  
TEL: 03-3237-0881 (代) FAX: 03-3237-3588  
E-mail: [jpn.women.harmony@jpn.salvationarmy.org](mailto:jpn.women.harmony@jpn.salvationarmy.org)  
Address: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17



### ※ 救世軍CARプロジェクト

Community Awareness and Recovery project

人身取引に対する地域社会の考えや行動を変えることを目的としたプロジェクトです。被害を受けた人々が社会復帰できるように長期的にケアをしています。救世軍英国及びアイルランド軍国の資金とスペシャリストの援助により、ナイジェリアとフィリピンで行われています。



「子どもたちの学校の授業料を払い、学用品が買えるようになりました。毎日食卓に食べ物が並ぶようになりました。それがどれだけの難いことか……。私の人生は全く別のものになりました。この話をすると、すぐに涙が出てきてしまうんです。ありがとうございます。救世軍に本当に感謝しています。」